

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	23	事業名	教育支援センター事業		担当課		教育総務課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-1-1-9 教育支援センター事業		
			(中事業名) 教育支援センター事業		決算書ページ		195	～	196
I 基本情報	総合計画	基本目標 2 子どもが元気に育つまち							
	政策	1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援							
	施策	(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進							
	その他	開始年度 平成13年度							
		終了予定年度 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未定		市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働不可		
		根拠法令等 長久手市教育支援センター条例							
	関連計画 長久手市教育振興基本計画								
II 事業概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか） 【対象】 □ 市民 □ 事業者 □ 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数： 6,549人 【事業内容】 不登校児童生徒が教育支援センターで安心して過ごせるよう、指導員やカウンセラーを適正に配置し、相談体制を充実します。また、家庭にいる不登校児童生徒に対して、学校や関係機関との連携を図り、家庭訪問等学校への復帰に必要な支援を行います。	②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか) ➡ 【アクションプラン指標】 スクールソーシャルワーカーとの定期連絡会実施回数 【その他の指標】 保護者の会「こーひーぶれいく」の実施回数	アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）				
			③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
			教育支援センターへの通所者の増加		就学児のひきこもりをなくす				
			(成果指標名)		大事業共通				
			教育支援センターの通所者割合						

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1 【アクションプラン指標】 スクールソーシャルワーカーとの定期連絡会実施回数（单年）	回/週	基準値	1	目標値	1	1	1	1	
				目標値	1	実績	1				
		2 【その他指標】 保護者の会「こーひーぶれいく」の実施回数（单年）	回/年	基準値	-	目標値	3	3	3	3	
				目標値	-	実績	3				
		3		基準値		目標値					
				目標値		実績					
		4		基準値		目標値					
				目標値		実績					
		事業開始の背景	全国的な問題である不登校の対策として、学校生活になじめない児童生徒の学習機会を確保し、支援の中核的な役割を果たしていくため、教育支援センターを設置している。 平成13年8月30日に市民野球場内の管理棟に適応指導教室として開設。令和4年4月1日に市役所西側に移転し、名称を教育支援センターに改めた。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
		R6	<ul style="list-style-type: none"> 希望者がオンラインで学校の授業が受けられるよう環境を整備した。 保護者の会「こーひーぶれいく」に参加した保護者の数 R6：1学期9人、2学期5人、3学期4人 	R7							
		R8		R9							

<p>III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）</p> <p>成果指標（CHECK）</p> <p>加える変化（ACTION）</p>	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標								
	教育支援センターの通所者割合		%	R4 年度 24	▶	R5 年度 19	▶	【現状】 R6 年度 13	▶	R9 年度 19	▶	R12 年度 25
	成果達成状況							指標目標値の根拠				
	D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						学校を長期に欠席している児童生徒のうち完全な引きこもり状態の児童生徒をなくすことを目指し、教育支援センターに通所している児童生徒の割合を2%ずつ増加させる。				
	評価の理由、分析											
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席児童生徒数の増加が著しい。 ・教育支援センターに通所する児童生徒は増加している。 											
	今後の方向性			今後の方向性の理由								
	A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		支援の中核的な役割を果たしていくため相談機能を強化し、保護者等が相談しやすい環境づくりをする。								
	改善ポイント											
	(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止										
		・学校との関係性が途切れないように、学校内にフリースクールを設置し、児童生徒の自主性を尊重しながら安心して過ごせる環境を提供する。現在は、各中学校と南小学校に設置済み。										
		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止										
2												
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3												
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用 令和8年度予算の 方向性(PLAN) 3年間の 推移	R8年度の費用(R7年度比)		(単位:千円)						
	B	A.拡充 B.現状維持 C.縮小 D.廃止	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
			事業費	予算	決算	予算	予算		
	理由		17,493		15,863	21,431	20,381		
	通所者は増加しており、現在の取組を進める。		特定財源	合計額	0	0	0		
				(内 国費)	0	0	0		
				(内 県費)	0	0	0		
				(内 諸収入)	0	0	0		
				(内 その他)	0	0	0		
	積算額		一般財源	17,493	15,863	21,431	20,381		
	R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、(R6年度予算額)>								
会計年度任用職員報酬 11,118千円 (10,066千円) コンピュータ保守委託 1,815千円 (1,106千円) 会計年度任用職員期末手当 2,317千円 (2,066千円) 会計年度任用職員勤勉手当 1,946千円 (1,728千円) 通信運搬費 102千円 (78千円) 除草業務委託 394千円 (372千円) 光熱水費 522千円 (516千円) 消防設備保守点検委託 17千円 (12千円) 空調機器フィルター清掃委託 43千円 (39千円) 会計年度任用職員通勤費 401千円 (400千円) 教育支援センター講師謝礼 6千円 (6千円) 会計年度任用職員旅費 17千円 (17千円) 消耗品費 266千円 (266千円) 食糧費 10千円 (10千円) 修繕料 300千円 (300千円) 医薬材料費 5千円 (5千円) 火災保険料 5千円 (5千円) クリーニング手数料 50千円 (50千円) 警備委託 238千円 (238千円) 浄化槽保守点検委託 70千円 (70千円) 駐車場使用料 5千円 (5千円) 入場料 4千円 (4千円) 図書 60千円 (60千円) 教育支援センター連絡協議会負担金 10千円 (10千円) 放送受信料 13千円 (15千円) コンピュータ賃借料 2,596千円 (2,655千円) 教育支援センター改修工事 0千円 (173千円)									